

ロシア・ボンド・オープン (年1回決算型)

運用報告書(全体版) 第6期

(決算日 2023年8月7日)

(作成対象期間 2022年8月9日~2023年8月7日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ロシア・ルーブル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	2017年8月7日~2025年8月6日		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ロシア債券マザーファンドの受益証券	
	ロシア債券マザーファンド	ロシア・ルーブル建債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-Euro Russia (円換算)		公社債組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配)	税金分配	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
2期末(2019年8月6日)	9,892	0	△ 1.5	10,382	0.6	96.7	—	49
3期末(2020年8月6日)	10,299	0	4.1	10,965	5.6	95.3	—	51
4期末(2021年8月6日)	10,358	0	0.6	11,239	2.5	94.3	—	52
5期末(2022年8月8日)	1,395	0	△ 86.5	5,131	△ 54.4	—	—	8
6期末(2023年8月7日)	1,379	0	△ 1.1	8,553	66.7	—	—	8

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-Euro Russia (円換算) は、JPMorgan GBI-Euro Russia (ロシア・ルーブルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan GBI-Euro Russia (ロシア・ルーブルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

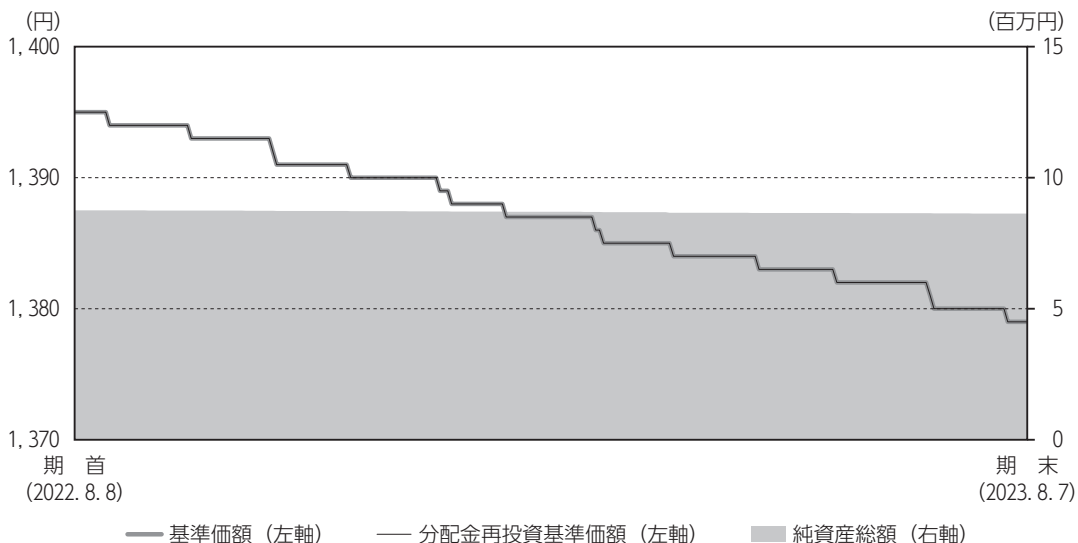
(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期首：1,395円

期末：1,379円（分配金0円）

騰落率：△1.1%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

ロシア国債の評価をゼロにしていることにより、基準価額はほぼ横ばいで推移しました。

ロシア・ボンド・オープン（年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		JPモルガン ロシア (参考指数)	GBI-EM (円換算)	公 社 債 組入比率	債券先物 比 率
	円	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期首)2022年8月8日	1,395	—	5,131	—	—	—
8月末	1,394	△ 0.1	6,924	35.0	—	—
9月末	1,393	△ 0.1	6,514	27.0	—	—
10月末	1,391	△ 0.3	10,448	103.6	—	—
11月末	1,390	△ 0.4	9,488	84.9	—	—
12月末	1,388	△ 0.5	5,997	16.9	—	—
2023年1月末	1,387	△ 0.6	3,756	△ 26.8	—	—
2月末	1,385	△ 0.7	1,418	△ 72.4	—	—
3月末	1,384	△ 0.8	1,446	△ 71.8	—	—
4月末	1,383	△ 0.9	1,469	△ 71.4	—	—
5月末	1,382	△ 0.9	1,808	△ 64.8	—	—
6月末	1,381	△ 1.0	9,905	93.1	—	—
7月末	1,379	△ 1.1	9,773	90.5	—	—
(期末)2023年8月7日	1,379	△ 1.1	8,553	66.7	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022. 8. 9 ~ 2023. 8. 7)

■債券市況

ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、ロシア債券については非居住者による取引や取引後の受渡しが困難な状況が継続しました。このような状況下、引き続き換金性枯渇の長期化が見込まれたことから、ロシア国債の評価をゼロとしました。

■為替相場

ロシア・ルーブルは対円で下落(円高)しました。

日銀がイールドカーブ・コントロール(長短金利操作)の長期金利の上限引き上げを実施したことで、市場では事実上の金融引き締めと受け止められ、円高が進行したことから、ロシア・ルーブルは対円で下落しました。

前作成期末における「今後の運用方針」**■当ファンド**

「ロシア債券マザーファンド」の受益証券を通じて、ロシア・ルーブル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

■ロシア債券マザーファンド

ロシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関が発行する債券に投資します。ロシア債券市場の流動性が正常化した際には、金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。

ポートフォリオについて

(2022. 8. 9 ~ 2023. 8. 7)

■当ファンド

主として、「ロシア債券マザーファンド」の受益証券に投資しました。ただし、ロシア国債の評価をゼロとしたことにより、当作成期の債券組入比率は0%で推移し、円キャッシュのみでの運用となりました。

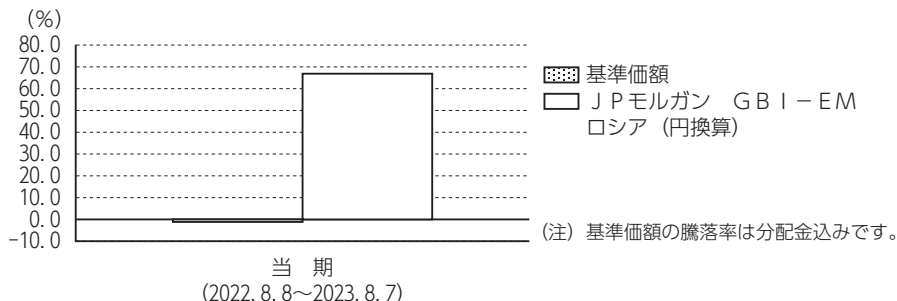
■ロシア債券マザーファンド

主として、ロシア・ルーブル建債券に投資しました。ただし、ロシア国債の評価をゼロとしたことにより、当作成期の債券組入比率は0%で推移し、円キャッシュのみでの運用となりました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はロシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、ロシア市場の混乱により継続的な分配を行うことが困難なため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2022年 8月 9日 ~2023年 8月 7日	
当期分配金 (税込み) (円)	—	
対基準価額比率 (%)	—	
当期の収益 (円)	—	
当期の収益以外 (円)	—	
翌期繰越分配対象額 (円)	244	

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ロシア債券マザーファンド」の受益証券を通じて、ロシア・ルーブル建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。ただし、ロシア金融市場の流動性が正常化し、ロシア国債の評価が可能となるまでは、円キャッシュを中心とした運用を行います。ロシア金融市場の流動性が正常化した際には、金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。

■ロシア債券マザーファンド

ロシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関が発行する債券に投資します。ただし、ロシア金融市場の流動性が正常化し、ロシア国債の評価が可能となるまでは、円キャッシュを中心とした運用を行います。ロシア金融市場の流動性が正常化した際には、金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022. 8. 9~2023. 8. 7)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	11円	0.811%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は1,387円です。
（投 信 会 社）	(0)	(0.011)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(11)	(0.768)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(0)	(0.032)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	4	0.289	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0.247)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(1)	(0.039)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	15	1.100	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

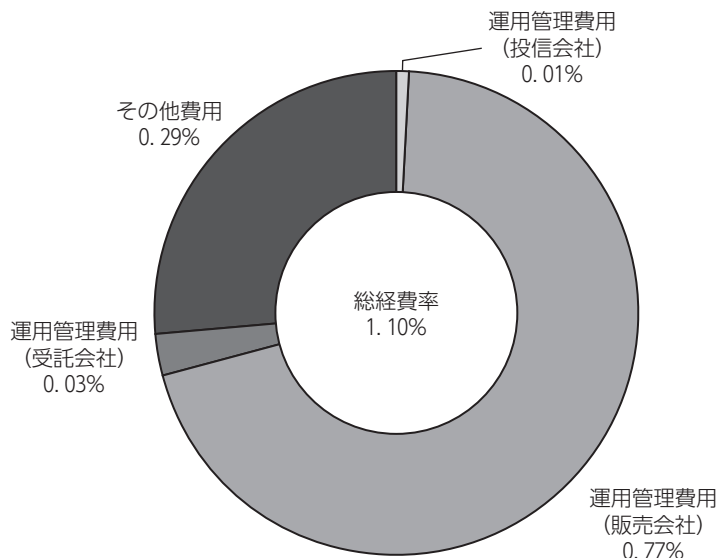
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ロシア・ボンド・オープン（年1回決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2022年8月9日から2023年8月7日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ロシア債券 マザーファンド	—	—	571	72

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■投信会社（自社）による当ファンドの設定・解約および保有状況

当作成期首 保有額	当作成期中 設定額	当作成期中 解約額	当作成期末 保有額	取引の理由
百万円	百万円	百万円	百万円	
50	—	—	50	当初設定時における取得

（注1）金額は元本ベース。

（注2）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千口	千円
ロシア債券マザーファンド	68,781	68,209	68,209	8,587

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ロシア債券マザーファンド	8,587	99.1
コール・ローン等、その他	77	0.9
投資信託財産総額	8,664	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	8,664,630円
コール・ローン等	77,070
ロシア債券マザーファンド（評価額）	8,587,560
(B) 負債	34,830
未払信託報酬	34,650
その他未払費用	180
(C) 純資産総額（A－B）	8,629,800
元本	62,570,341
次期繰越損益金	△ 53,940,541
(D) 受益権総口数	62,570,341口
1万口当り基準価額（C／D）	1,379円

* 期首における元本額は62,773,865円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は203,524円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は1,379円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は53,940,541円です。

■損益の状況

当期 自 2022年8月9日 至 2023年8月7日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 27,233円
売買益	53
売買損	△ 27,286
(B) 信託報酬等	△ 70,761
(C) 当期損益金（A＋B）	△ 97,994
(D) 前期繰越損益金	△ 48,543,239
(E) 追加信託差損益金	△ 5,299,308
(配当等相当額)	(363,139)
(売買損益相当額)	(△ 5,662,447)
(F) 合計（C＋D＋E）	△ 53,940,541
次期繰越損益金（F）	△ 53,940,541
追加信託差損益金	△ 5,299,308
(配当等相当額)	(363,139)
(売買損益相当額)	(△ 5,662,447)
分配準備積立金	1,163,834
繰越損益金	△ 49,805,067

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

（注4）投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：420円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	363,139
(d) 分配準備積立金	1,163,834
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	1,526,973
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	1,526,973
(h) 受益権総口数	62,570,341口

ロシア債券マザーファンド

運用報告書 第6期 (決算日 2023年8月7日)

(作成対象期間 2022年8月9日～2023年8月7日)

ロシア債券マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

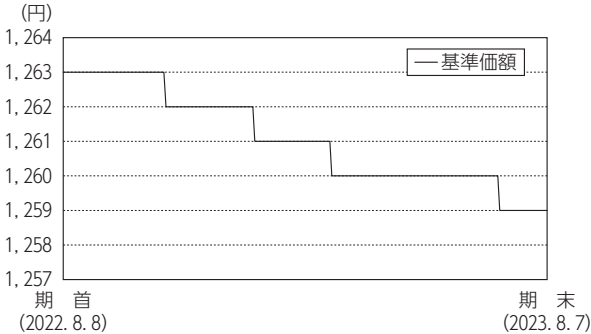
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	ロシア・ルーブル建債券
株式組入制限	信託財産の純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準価額		JPMorgan GB I-EM ロシア (円換算)		公社債 組入比率	債券先物 比率
	円	騰落率 (%)	(参考指数)	騰落率 (%)		
(期首) 2022年 8月 8日	1,263	—	5,131	—	—	—
8月末	1,263	0.0	6,924	35.0	—	—
9月末	1,263	0.0	6,514	27.0	—	—
10月末	1,262	△ 0.1	10,448	103.6	—	—
11月末	1,262	△ 0.1	9,488	84.9	—	—
12月末	1,261	△ 0.2	5,997	16.9	—	—
2023年 1月末	1,261	△ 0.2	3,756	△ 26.8	—	—
2月末	1,260	△ 0.2	1,418	△ 72.4	—	—
3月末	1,260	△ 0.2	1,446	△ 71.8	—	—
4月末	1,260	△ 0.2	1,469	△ 71.4	—	—
5月末	1,260	△ 0.2	1,808	△ 64.8	—	—
6月末	1,260	△ 0.2	9,905	93.1	—	—
7月末	1,259	△ 0.3	9,773	90.5	—	—
(期末) 2023年 8月 7日	1,259	△ 0.3	8,553	66.7	—	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) JPMorgan GB I-EM ロシア (円換算) は、JPMorgan GB I-EM ロシア (ロシア・ルーブルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan GB I-EM ロシア (ロシア・ルーブルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (転換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

- ◆基準価額等の推移について
 - 【基準価額・騰落率】
期首：1,263円 期末：1,259円 騰落率：△0.3%
 - 【基準価額の主な変動要因】
ロシア国債の評価をゼロにしていることにより、基準価額はほぼ横ばいで推移しました。
- ◆投資環境について
 - 債券市場
ロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、ロシア債券については非居住者による取引や取引後の受渡しが困難な状況が継続しました。このような状況下、引き続き換金性枯渇の長期化が見込まれたことから、ロシア国債の評価をゼロとしました。
 - 為替相場
ロシア・ルーブルは対円で下落 (円高) しました。
日銀がイールドカーブ・コントロール (長短金利操作) の長期金利の上限引き上げを実施したことで、市場では事実上の金融引き締めと受け止められ、円高が進行したことから、ロシア・ルーブルは対円で下落しました。
- ◆前作成期末における「今後の運用方針」
ロシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関が発行する債券に投資します。ロシア債券市場の流動性が正常化した際には、金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
- ◆ポートフォリオについて
主として、ロシア・ルーブル建債券に投資しました。ただし、ロシア国債の評価をゼロとしたことにより、当作成期の債券組入比率は0%で推移し、円キャッシュのみでの運用となりました。
- ◆ベンチマークとの差異について
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。
参考指数はロシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

ロシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関が発行する債券に投資します。ただし、ロシア金融市場の流動性が正常化し、ロシア国債の評価が可能となるまでは、円キャッシュを中心とした運用を行います。ロシア金融市場の流動性が正常化した際には、金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。

ロシア債券マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	4 (3)
(その他)	(1)
合 計	4

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

(1)外国 (外貨建) 公社債 (通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちB B格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
ロシア	千ロシア・ルーブル 55,500	千ロシア・ルーブル —	千円 —	% —	% —	% —	% —	% —

(注) 額面金額の単位未満は切捨て。

(2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	当 期		償還年月日
					評 価 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ロシア	Russian Federal Bond - OFZ	国債証券	8.5000	千ロシア・ルーブル 23,000	千ロシア・ルーブル —	千円 —	2031/09/17
	Russian Federal Bond - OFZ	国債証券	7.7500	27,000	—	—	2026/09/16
	Russian Federal Bond - OFZ	国債証券	6.1000	5,500	—	—	2035/07/18
合 計	銘柄数 金 額	3銘柄		55,500	—	—	

(注) 額面金額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月7日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 14,848	% 100.0
投資信託財産総額	14,848	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月7日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	14,848,000円
コール・ローン等	14,848,000
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	14,848,000
元本	117,906,574
次期繰越損益金	△ 103,058,574
(D) 受益権総口数	117,906,574口
1万口当り基準価額 (C / D)	1,259円

* 期首における元本額は119,437,612円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は1,531,038円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロシア・ボンド・オープン (毎月決算型)	49,697,199円
ロシア・ボンド・オープン (年1回決算型)	68,209,375円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は1,259円です。

* 当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は103,058,574円です。

■損益の状況

当期 自 2022年8月9日 至 2023年8月7日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 6,284円
支払利息	△ 6,284
(B) その他費用	△ 43,004
(C) 当期損益金 (A + B)	△ 49,288
(D) 前期繰越損益金	△ 104,347,227
(E) 解約差損益金	1,337,941
(F) 合計 (C + D + E)	△ 103,058,574
次期繰越損益金 (F)	△ 103,058,574

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。